

# BEN STYLE

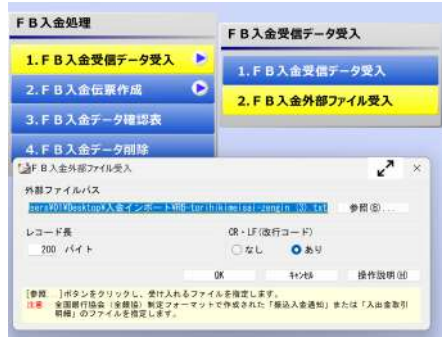
第248号  
BenHouse  
(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)  
www.benhouse.co.jp

## 「AIなんて経理に役立つ？」から始まった、私のシステム導入奮闘記

経理 藤本

『ベンハウスでAIの研修を開催するので受講して下さい』ある日突然、社長からそう言われた時、正直『ガチガチな数字を扱う経理業務に、AIなんて本当に関係あるのかな』と半信半疑でした。しかし、この無茶振りが、毎月手作業で行っていた『銀行データを商奉行（販売管理ソフト）に取り込める形式に変換する業務』をガラリと変えるきっかけになったのです。

研修後、さっそくAIに指示を出して変換用のデータを作るうとしたのですが、



現実には甘くありませんでした。いざシステム（商奉行）に取り込むとすると、エラーが出て何度も処理がストップ。銀行データにある『様』という文字や、目に見えない全角・半角スペースのせいで、AIが作ったデータがどうしてもシステム側と噛み合いません。画面に表示される冷たいエラーコードを前に、『やっぱり私には無理かも』と、諦めそうになりました。何日もエラーと向き合う中で、AIへの指示の出し方（プロンプト）を少しずつ工夫していきまし

た。『一度にすべてをやらせるのではなく、AIが迷わないように手順を細かく分けて指示を出してみよう』このアイデアが大正解で

した。時間をかけて何度も修正とテストを重ねた結果、ついにエラーを突破！銀行データをポツン一発で綺麗に変換し、そのまま商奉行へスムーズに取り込める仕組みがようやく完成したのです。あんなに拒否反応のあったAIですが、今では『わざわざ数秒』で、あの面倒だった取り込み準備が完了するようになりました。手入力や目視の確認がなくなり、金額のミスの心配もゼロです。自分で時間をかけて苦労し、AIと二人三脚で仕組みを作り上げた瞬間の達成感忘れられません。社長の無茶振りでしたが、あきらめずに一歩踏み出してみれば本当に良かったと思っています。当社では、このように現場で泥臭く失敗を重ねながら、『本当に実務で役立つ業務改善』を目指しています。毎月の手作業における悩みでしたら、弊社のAIサポート



ターがしっかりとサポートいた

しますので、ぜひお気軽にご相談ください！  
**もう40年!!**

営業サポート 大汐  
神戸異人館で金髪ロングヘアーのカツラとフリフリのドレスを着たのが40年前！梅雨の真っ只中、誕生日が近い学生時代の友人とともに過ごした神戸でお誕生日会。雨女の彼女（ポツ担当）と晴れ女の私（ツッコミ担当）強烈な雨女のおかげでやっぱり雨やん。神戸駅で待ち合わせ三ノ宮行き市バスに乗り懐かしい景色を眺めながらお世話になったアパートのオーナーさん（寺院）を訪ねる。グループマップで予習したらそこは駐車場になっていたが寺院は阪神大震災の被害もあり本堂だけを建て替えて残っていた。庭の紫陽花を一輪ずつ各部屋に届けてくださったかくしゃくとしたオーナーさんもたくさんもたくなり突然の訪問にもかか



わらずお嫁さんにあたたかくご自宅に迎え入れていただきご仏壇に手を合わせる事もできた。あの頃のオーナーさんが今の私ぐらいの年齢だったことに縁を感じる。話は尽きないが母校まで徒歩で向かう。ここにあった銭湯で同じくラスの〇〇さんによく会ったわ。スッピンやから最初誰かわからなかったけど話しながら。歩いて10分で母校到着。外観はほとんど変わってない。写真を撮ってグループラインに送る。変わってないね。懐かしい。と返事が。市バスを乗りこなし予約していただき褒美コースランチ。北野坂、栄る田さんへ一品ごとに産地と料理の説明があり料理人さんの技と心意気を感じながらお誕生日会。特に神戸牛のしゃぶしゃぶは絶品もちろんプレゼント交換



も！夢のよう なひとときを 楽しみ させて次 はどこ行くんやった？スイーツは別腹。気になってた『アニエスベーカフェ』さんへ。今度は徒歩で向かう。ユーハイムさんとのコラボメニューを完食。そして7月生まれの子の誕生日プレゼント選び。これ可愛い。これ似合うと思う。目移りも激しく選ぶ時間も楽しい。今回は遠い地に住んでいる仲良し五人組と神戸を訪れてみよう。



**耳で楽しむ「ベンハウス・ラジオ」始動！**

ベンハウスのYouTubeチャンネルに、ちょっと変わった新コンテンツが登場しました。その名も『ベンハウス・ラジオ』。仕事の裏話から、日常のちょっとした出来事、プライベートな趣味の話まで、スタッフ同士の会話をゆるく、時に鋭くお届け

するラジオ番組です。動画とはまた違った形で、ベンハウスの雰囲気やスタッフの人柄を感じていただけます。第1回は、入社25年のベテラン・黒川さんと、2年目の中西さんがコンビを組んでスタート。春の姫路を舞台に、花見より筋トレおじさんが気になるー？という他愛のない話から、思わず頷けるお仕事の本音まで、自然な掛け合いが楽しめる回になっています。第2回に登場したのは、青森出身の女性エンジニア『24番さん』。ベンハウスに入社したきっかけは、市役所で見かけた『黄色い車』だったとが。さらに、ゴルフデンウィークに没頭したという意外な趣味の話でも盛り上がり、普段なかなか見えない素顔が感じられる内容です。そして第3回では、なんとこの『ベンスマイル』にも話が及びます。お弁当屋さんですか？とお客様に言われた過去



のクスツと笑えるエピソードや、創刊から24年続くベンスマイルのちょっとした裏話など、読者のみなさんにも楽しんでいただける内容になっています。ふだんは『EYEのアプリ』として、お客様のお困りごとに向き合っているベンハウスのスタッフたち。そんなスタッフが、マイクの前では仕事とは少し違った、人間らしい一面を見せてくれるそれがベンハウス・ラジオの魅力です。気軽に聴ける一方で、スタッフの仕事への思いや、ベンハウスのあたたかさを感じられる内容です。ふとした会話の中に、普段の仕事ぶりや社内のお空気がにじんでいるのも、聴きどころです。動画を見る時間だけでなく、耳だけで楽しめるので、作業の合間にもチェックしてみてください。ちょっとした休憩時間にも、10分ほどで気軽に聴いていただけます。『姫路ベンハウス』で YouTube 検索、またはQRコードからどうぞ！

